第６学年　外国語科学習指導案

１　単元名　『満天？〇〇レストラン～わがままなお客さんを納得させよう～』
（New Horizon Elementary6 Unit6 Let’s think about our food.）

２ 単元の目標

・食材を通じた他地域とのつながりや食べ物の栄養素について伝えることができる。
（知識・技能）

・食材を通じた他地域とのつながりや食べ物の栄養素について，意図をもってメニューを作ったり相手に伝わるような表現を考えたりしながら伝え合っている。
（思考力・判断力・表現力）

・食材を通じた他地域とのつながりや食べ物の栄養素について意図をもってメニューを作ったり相手に伝わるような表現を考えたりしながら伝え合おうとしている。
（学びに向かう力，人間性等）

３　単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・食材を通じた他地域とのつながりや食べ物の栄養素について，聞いたり伝えたりすることができる。 ・簡単な語句や基本的な表現を理解し，英文を読んだり例文を見ながらせりふを書いたりすることができる。	・食材を通じた他地域とのつながりや食べ物の栄養素について，意図をもってメニューを作ったり相手に伝わるような表現を考えたりしている。	・食材を通じた他地域とのつながりや食べ物の栄養素について，意図をもってメニューを作ったり相手に伝わるような表現を考えたりしようとしている。

４　単元の構想

これまでの単元では，個人やペアで発表の機会を設けてきた。教科書の基本的な表現に加えて自分の気持ちや詳しい情報を伝えたいと思う児童が多く，児童用ルーブリックを見ながら A 評価を目指す児童がほとんどだった。しかし，せりふを覚えることに時間を掛ける児童が多く，形式的な発表になってしまう現状がある。また，声の大きさや発音，態度面の課題に気付いて改善を試みる姿は見られるが，自分の思いを英語で話したときに相手に伝わっているのか自信がもてず，不安を感じている児童がいるという課題がある。

表現については，Unit4「Summer vacations in the world.」で「What did you eat~.」「I ate~.」を用いた過去を表す語句を用いた表現，また Unit2「How is your school life?」で「I usually~.」を用いて日課を表す表現を扱っている。「～is from….」「～is in the …group.」といった食材の産地や食べ物の栄養を表す表現については本単元で初めて扱う。そこで，上記に示した「せりふを覚えることに時間を割く」という学級の実態を受けて，本単元で初めて扱う「～is from….」「～is in the …group.」の表現に焦点を当てて発表を行うこととする。

単元のゴールとして『満天？〇〇レストラン～わがままなお客さんを納得させよう～』という活動を設定した。一人が一つのメニューを考案し，４～５人のメニューを集めて班で一つのレストランになるというものである。「わがままなお客さん」として〇〇小学校の先生を想定する。先生の要望に合わせて作ったメニューの発表を班で撮影し，級外の先生や６学年の先生に実際に評価してもらう。動画を使った発表については Unit4「Summer vacations in the world.」で ALT に向けた夏休みの思い出発表で経験しているが，班で１つの発表を行うのは本単元が初めてである。単元の途中で動画を使って振り返りを行うことで自分を客観的に見たり，同じ班の友達の発表を聞いたりアドバイスしたりする活動を取り入れる。このことにより，自分のよさや課題に気付いたり相手に自分の英語が伝わっているのか確かめたりすることができると考える。また，よく知

っている先生の要望を踏まえて伝えたい内容を考えたり表現を付け足したりする活動を通して，相手意識をもって自分の発表内容を改善していく姿に期待したい。

５　単元の指導計画

時	学習のねらい	評価		
		知・技	思・判・表	態度
1	・日常の食生活について振り返る。 ・ALT と担任のやり取りを聞き，日常の食生活について用いる表現を確認する。	本時では，記録に残す評価は行わないが，記録に残さない活動や時間において語句が正しく言えているか，聞き取れているか児童の学習状況を確認する。		
2	・日常の食生活を表す表現（What did you eat～?／I ate~.／What do you usually eat?／I usually eat~.）について理解する。 ・Starting out や Let’s listen1 を用いて，表現や内容について理解する。 ・日常の食生活を表す表現を使ってペアで伝え合ったり友達とやり取りをしたりする。	○		
3	・食材の産地や食べ物の栄養素を表す表現（～is from….／～is in the …group.）について理解する。 ・Let’s chants や Let’s listen2 を用いて，表現や内容について理解する。 ・食材の産地や食べ物の栄養素を表す表現を使ってペアで伝え合ったり友達とやり取りをしたりする。	本時では，記録に残す評価は行わないが，記録に残さない活動や時間において語句が正しく言えているか，聞き取れているか児童の学習状況を確認する。		
4	・本単元のゴールを伝えて，見通しをもつ。 ・班でレストランの構想について考え，自分のオリジナルメニューを作る。 ・Let’s chants で表現や内容を確認する。 ・モデル映像を見て，自分ならどのようなメニューにするか考える。		○	○
5	・自分で考えたメニューについて，発表の原稿を作る。 ・第４時で考えた構想を基に英語でどのように伝えるか考え，練習する。 ・自分の発表を動画で撮影し，提出する。		○	○
6 本時	・教師のモデル動画を見て，内容を充実させる表現について考える。 ・付け足した方がよい内容や表現について検討する。 ・訂正した動画を撮影し，班で見ることで自己評価をする。		○	○
7	・第６時に撮影した動画を見直す。 ・班で練習し，班全体の動画を撮影する。	◎	◎	◎
8	・他の班の発表動画を見たり，○○小学校の先生からの評価を聞いたりする。	○		○
9	・外国から来る食べ物や日本の食糧事情について知る。			○

６ 本時の計画　（６／９時）

(1) ねらい

教師のモデル動画を見て，お客さんの要望に合わせてどんな表現を付け足すのか考える活動を通して，自分の課題を見付けたり自分の発表内容や表現を修正したりする。

(2) 本時の構想

【手立て①】内容面が不足している教師のモデル動画を見て，どんな表現を付け足せばよいのか全体で検討することで改善の見通しをもたせる。

基本的な表現を押さえてはいるが，１つの食材しか紹介していない，感想を伝えていないモデル動画を見せる。「１つの食材しか紹介されていない。」，「味が分からない。」など ALT から評価してもらうことで，メニューの内容をより具体的に伝えるにはどうしたらよいのか全体で検討する。教師のモデル動画と自分の発表内容を比較することを通して，自分の課題に気付いたり内容を見直したりして改善の見通しをもたせる。

【手立て②】修正した動画を班で見合い，自己評価することで自分の学習状況を把握させる。

内容を修正した動画を撮影し，班で見合う。お客さんの要望に合っているかアドバイスや評価してもらうことを通して，自分の学習状況を把握させる。修正した内容がお客さんの要望に合っているか互いに確認することで，自分の発表が改善したのかを客観的に見られるようにする。

(3) 展開

時間	学習活動 （教師の働きかけと予想される児童の反応）	・留意点や準備するもの ■評価（評価方法）
導入 ３分	（１）挨拶	・通常授業の流れと同様。
展開① 12 分	（２）教師によるモデル動画の視聴　(A 先生：ALT) T1:前回は自分が考えたメニューの動画を撮りました。声の大きさやジェスチャーを加えて発表しました。 T2:先生も A 先生の注文に合わせて動画を撮ってきたのでみんなで見ましょう。 ・This is curry and rice. ・“桃太郎 tomato” is from Toyosaka. ・“桃太郎 tomato” is in the green group. T3: A 先生の注文に合っていましたか。 C1:(～産)のものを食べたいという注文に合っている。 C2:正しい言い方をしているし，いいんじゃない。 T4: A 先生に聞いてみますね。 How about my curry? ALT1: ・Normal curry? I want to eat special curry.（メニュー名） ・What “桃太郎”? spicy? bitter? （味） ・Only “桃太郎 tomato”？ I like meat. （食材） T5:正しい言い方で A 先生の注文に合った料理を考えたはずなのに，A 先生が納得してくれないのはなぜだろう。 課題：わがままなお客さんを納得させるには何が足りないのだろう。 （３）付け足した方がよい表現を考える。 T6: A 先生を納得させるには先生の内容に何が足りないのでしょう。	・態度面は前時で扱っている。 ・基本的な表現を伝える動画を全体で見る。 ・掲示物を見ながら，A 先生の注文に合っているか確認する。 ・ALT に動画の感想を聞く。 ・手立て①内容面が不足している教師のモデル動画を見て，どんな表現を付け足せばよいのか全体で検討することで改善の見通しをもたせる。 ・出た意見から，基本的な文（メニュー名／産地／栄養素）のどこを修正

	《メニュー名》 C3:料理名をただのcurryじゃなくて，tomato curryにすればいいんじゃない。 《感想》 C4：桃太郎トマトカレーの味を紹介した方がよい。 《食材》 C5:桃太郎トマトしか伝えていないから他に入っている食材も言った方がいい。 T7:では，今の内容を付け足して A 先生に聞いてみますね。 How about my curry? ・This is tomato curry and rice.（メニュー名） ・“桃太郎 tomato” is from Toyosaka. ・“桃太郎 tomato” is in the green group. ・It's sweet.（感想） ・The beef is from Niigata.（食材） ALT2: Wonderful! I want to eat “tomato”curry. T9: A 先生が納得してくれました。わがままなお客さんを納得させるにはどうしたらよいですか。 C6: まとめ： ①メニュー名を分かりやすくする。 ②どんな味なのか感想も伝える。 ③他の食材も紹介するといい。	すればよいのか確認しながら共有する。 ・メニュー名，感想，食材を加えて伝えて，ALT から再度感想をもらう。 ・メニュー名，感想，食材を加えると具体的になることを共有する。
展開② １５分	（４）発表内容の見直し，修正と動画撮影 T10:メニューを分かりやすくする，味や感想を伝える，他の食材も紹介するとお客さんが納得するんだね。 T11:では，このポイントを意識しながら自分の内容を見直して，ペアで動画を撮りましょう。友達や先生に見てもらってもよいです。 《メニュー名》 C7: 料理名を「meat soba」にしよう。 《感想》 C8:「It's hot.」と感想を伝えよう。 《食材》 C9:肉だけではなく，ほうれん草も入っていることを伝えよう。	・自由に離席して，教師や友達に聞いたりタブレットを使って調べたりしてよい。 ・全体で共有した方がよい質問やよい例があれば途中で共有する。 ・ペアで動画を撮影する。
展開③ ７分	（５）撮った動画を班で見合いアドバイスをもらう。 T12:撮った動画が今日のポイントに合っているか班で見合い，感想を伝えたりアドバイスをしたりしましょう。 C10: ・This is meat soba.(メニュー名) ・The pork is from Australia. ・The pork is in the red group. ・It's hot.（感想） ・The spinach is from Niigata.（食材）	・手立て②修正した動画を班で見合い，自己評価をすることで自分の学習状況を把握させる。 ・一人１分程度の中で班全体で動画を見合って，感想を伝えたりアドバイ

	《メニュー名》 C11:肉が入っているそばだと，すぐに分かるね。 《感想》 C12：冷たいそばじゃなくて温かいそばだと伝わるね。 《食材》 C13:ほうれん草も緑グループだし注文と合っているね。	スを伝えたりする。
振り返り ８分	（６）振り返りシートを書く。 T13:今日のチェックポイントは，何でしたか。 C14:メニュー名を分かりやすくする，他の食材も紹介する。味や感想を伝える。 T14:ではどのポイントができたのか，振り返りを書きましょう。なぜそれができたと思ったのですか。 《メニュー名》 C15:ただのそばじゃなくて肉の入ったそばだと伝えたかったから，meat soba にした。 《感想》 C16：温かいそばだと伝えるために，「It's hot.」と言えたから。 《食材》 C17:ほうれん草も入っていると伝えたことで，緑グループの食材を増やせたから。 T15:お客さんを納得させるために，一人一人のメニュー動画がパワーアップしました。次回はいよいよ班全体で動画を撮ってお客さんに見てもらう動画を撮りましょう。	・「お客さん満足度シート」（２）を記入する。 ■前時の内容に比べてメニュー名や感想，食材のうち１つ以上の表現を加えようとしている（行動観察，台詞カード）

(4) 評価

A：適切な理由をもって，表現を改善しようとしている。（振り返り／次時で評価）。

B：前時の内容に比べてメニュー名や感想，食材のうち１つ以上表現を加えようとしている。（行動観察，台詞カード）。

・This is soba.
・The pork is from Australia.
・The pork is in the red group.

→

・This is ☆meat soba.（メニュー名）
・The pork is from Australia.
・The pork is in the red group.
☆It's hot.（感想）
☆The spinach is from Niigata.（食材）